

団体データ

一般社団法人 tsumugu

- 設立 2018年
- メンバー 2名
- 拠点 東通村
- 活動エリア 下北地域、東青地域
- 住所 〒035-0004 下北郡東通村蒲野沢上田沢27-1
- TEL 090-2693-4219
- MAIL tsumugu@cosmoltd.co.jp
- HP https://www.tsumugu0326.com/



HP



facebook



東通村の高校生と地域について考えるワークショップ。



コミュニティスペースを拠点に高校生カフェを実施。



高校生にも地域づくりに参画してもらう。

支援先機関

- 上小国いきいき地域づくり検討会
- 川内「つどいの場」づくり検討会

団体のあゆみ (地域づくりの中間支援事業を中心に)

- 2018 ● 一般社団法人 tsumugu 設立
- 外ヶ浜町上小国地区の中間支援事業スタート
- 上小国地区いきいき地域づくりプラン策定
- 東通村にて高校生人材育成事業スタート
- 2019 ● プランに基づく事業の実証開始
- 東通村に「コミュニティスペースめぐだまり」開設
- 2020 ● プランに基づく事業の実証継続
- 2021 ● むつ市川内町の中間支援事業スタート
- 川内いきいき地域づくりプランの策定

ここがPOINT!

共育型インターンシップが地域の意識を変えた

下北地域で共育型インターンシップを進めてきたことで、下北地域の方々が「教育や人材育成に投資することが地域にとって大事だ」ということに気づき、力を入れ始めています。下北地域はもともと大学生と接点が少ない地域。大学生と共に活動していくことによって、人材育成を認識するきっかけとなりました。



小寺、八月朔日の2人が地域づくりを支援します!



川内町での地域住民を交えたワークショップのようす。

東通村



地域×若者×企業  
若者が挑戦できる地域へ

一般社団法人 tsumugu / 小寺 将太さん

上小国いきいき地域づくり検討会や川内「つどいの場」づくり検討会などにおいて、コーディネーターとして各地域の課題を可視化したプランを策定することで、地域共生社会の実現に向けた中間支援を行っている。また、拠点とする東通村では学生が集えるコミュニティスペースの運営や大学生の共育型インターンシップもを行っている。



挑戦したい若者は、ぜひ下北へ!

**地域と行政との間をつなぐ中間支援**  
大学生向けの共育型インターンシップのコーディネートや、若者の居場所づくり、地域づくりの中間支援コーディネーターとして、行政と地域をつなぐ役割を担っている一般社団法人 tsumugu は、2018年に代表の小寺さんが立ち上げました。  
小寺さんは大学在学時から落活性化などの地域づくりに携わってきたことから、大学職員を経て一般社団法人 tsumugu として独立。現在は東通村に在住し、学生が集えるコミュニティスペースを運営しながら青森県内

における地域づくりの中間支援を担っています。拠点は東通村ですが、下北地域での大学生向けの共育型インターンシップのコーディネートや中間支援コーディネーターとして、外ヶ浜町上小国地区、むつ市川内町の地域づくりの伴走支援など、支援は県内全域に及んでいます。  
**まずは地域住民との信頼づくりから**  
小寺さんが上小国地区の中間支援をするようになったきっかけは、東青地域県民局からの紹介でした。「共生社会の取り組みは、時間をかけて地域のことを知ることから始まります。中間支援をするにあたって、まずは上小国地区に通って地域の方々との信頼づくりをしましょう。気軽に話をしながら、地域でやりたいことや困りごとなどの課題を可視化していきまし

た。上小国地区は高齢者が多い地域。地域の皆さんが「一番に口にするのは『若者が居ない、担い手が居ない』ということ。そこでプランの中に関係人口を増やす取り組みを入れ、大学生との交流事業として田植え体験を行いました。大学生の参加によって「こんな田舎にも大学生が来るんだ」と地域住民のモチベーションが上がリ、ほかの事業にも住民



上小国地区では田植え体験で大学生と交流。

「私が思う地域のコーディネーターは、地域を翻訳する人。地域の想いを吸い上げて、翻訳して、対象者に伝える。私の場合、  
**地域のなかに、コーディネーターを生むことが大切**  
「私が思う地域のコーディネーターは、地域を翻訳する人。地域の想いを吸い上げて、翻訳して、対象者に伝える。私の場合、



県内の大学生が下北に住み込みで1ヶ月過ごすインターンシップ。

その対象者は若者です。地域の人たちと信頼関係を築いて本音を聞き出し、翻訳できるかどうかということも大切にして、どの事業も進めています」と小寺さん。小寺さんは信頼関係を築くために、とにかく接触回数を増やして直接会うことを大切にしています。民間だからこそフットワークも軽く会いに行き、年度に縛られずにと関わることができ、民間だからこそその立ち位置で支援ができるのが強みです。  
また、小寺さんは地域のなかにコーディネーターを生むことも大切だと語ります。地域おこし協力隊や地域のリーダーなど、なにかやりたいと思ったときに行動に移せる地域のプレイヤーや、日々の相談役になれる人材が必要となるため、地域単位での